

2013年6月14日

関係各位

財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎

中国大学日本語学科の日本人日本語教師の公募について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当協会では、中国教育国際交流協会からの要請をうけ、中国大学日本語学科の日本人日本語教師の招聘事業について共同で実施することになり、下記の要領で中国大学日本語学科の日本語教師を公募することになりました。つきましては、希望される方は応募の申請手続きをして下さい。また、お心当たりの方がございましたら、応募方、お勧めくださいますようお願い申し上げます。

記

1. 事業の趣旨 中日文化交流・相互理解を推進するため、中国大学日本学科の学生の日本語能力や国際理解力をレベルアップさせるために、日本人日本語教師を招聘し、中国の大学で教学する事業を実施する。中国教育国際交流協会と財団法人日本語教育振興協会が共同で実施する。
2. 招聘先 中国の日本語学科を設置し日本人日本語教師を招聘する資質を有する大学
3. 招聘期間 毎年9月より一年間
4. 招聘教員数 10名
5. 待遇条件 (1) 宿泊費（日常電気、家具、インターネット付き）、光熱費は中国側負担
(2) 毎月人民元 4000－5000 の給料を中国側提供
(3) 往復国際航空運賃一回中国側提供
(4) 毎週の授業時間は16 コース（45 分間/コース）以内
(5) 教員の来華手続きなど中国側協力
6. 教員の条件 (1) 性別：不問
(2) 年齢：60 歳以内（一部の学校は 65 歳以内受入可）
(3) 学歴：大学の学士号や修士号の取得者
日本語学、日本語教育学及び人文科学系分野での学士号や修士号取得者優先；日本語教員資格を有し、日本語教育経験がある方優先。
(4) その他の条件：
①十分な気力と体力を有する方
②中日友好交流に関心があり情熱を持って教育に打ち込める方
③協調性があり、教師としての自覚・責任感を有する方
④中国での生活へ適応能力を有する方
⑤中国の法律や学校の規定に遵守する方
7. 提出書類 (1) 履歴書（①様式に添って記入・作成すること。②出身地には出身の都道府県名を記入してください。③教育歴は対象・レベルを記入してください。）

- (2) 研究業績の一覧（研究業績は、研究会発表、教材作成などを含む）
- (3) 次の三つのテーマについて、それぞれ A4、1～2枚程度記述したもの
 - ①志望の動機および中国での日本語教育に関する考え方
 - ②中国の若者に伝えたいこと
 - ③日中友好交流の推進についての考え方や実績など
 - ④中国語の習得状況について、記入して下さい（入門程度、初級程度、中級程度、上級程度、学習したことがない）

- 8. 応募締め切り **2013年 6月 28日（金）日振協 必着**
- 9. 選考方法 書類審査の後、合格者に面接（7月21日（日）予定、交通費応募者負担）
なお、あわせて模擬授業審査をおこなう可能性があります。
- 10. 採否の決定 当協会から推薦し、中国教育国際交流協会が最終決定する
- 11. 応募書類の提出先 〒151-0053
東京都渋谷区代々木 1-58-1
財団法人日本語教育振興協会 総務部宛
(注)「中国日本語教員応募書類」と朱記し、郵送のこと
- 12. お問い合わせ先 総務部 小野寺陽子 ・ 石川
TEL 03-5304-7815 FAX 03-5304-7813
Eメール y-onodera@nisshinkyo.org

(参考)

中国教育国際交流協会は、中国教育界の国際交流を推進する非政府機構であり、中国教育部（教育省）に属する。

中国教育国際交流協会は、中国の教育界と世界各国・地域との交流と協力を推進し、教育、科学技術、文化事業の発展を促進し、各国・地域間の交流と友好の強化に努め、多大の成果をあげています。

中国と日本の日本語教育及び留学交流の分野で中国教育国際交流協会と日本語教育振興協会は長い期間の連携・協力を通じて、その充実発展に寄与してきました。

とくに 2006 年からは、中国教育国際交流協会と当協会が共催して日本語教育セミナーの事業を北京で実施している。2012 年 8 月には日中国交正常化 40 周年に当たり、日中両国の友好の促進を資するため、「日中国交正常化 40 周年記念日本留学フェア・セミナー（北京）」を中国教育国際交流協会と当協会、独立行政法人日本学生支援機構、特定非営利活動法人 JAFSA（国際教育交流協議会）、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会が共催で 21 世紀飯店（中日青年交流センター）で開催した。

以上

